



大正14年に誕生し市勢の発展とともに拡張を続けてきた高知市の水道。このたびの春野町との合併により給水区域に春野ブロックが加わり、その歴史にまた新たな一頁を加えました。

水源に恵まれた高知市の水道は、一日に最大約14万立方メートルの良質な水道水を、約92平方キロメートルの区域に暮らす32万5千人の皆さまに安定供給していきます。

快適な暮らしを支える高知の水道

これまで、これからも、安心を送り続けます。



安定した給水

高知市の地形に即した水道を構成するために、鏡川中上流部に7か所の簡易水道を、平野部を中心に上水道を設けています。そして給水区域が広い上水道については、低地区を7ブロック、高地区を5ブロックに分け、高台地区や管末地区での水圧低下を防いでいます。このような給水区域のブロック化は、水の効率的な配分により安定的な給水を実現するとともに、不測の事態が生じた場合でも、影響範囲を最低限に抑え、早期復旧を可能としています。



良質な水源

上水道の水源は、鏡川、吉野川水系からの高知分水、そして仁淀川の3河川が主なもので、ほかに本宮町、布師田、さらに合併により加わった弘岡上、森山の地下水源

があります。一方、簡易水道は、それぞれが独立した水源を持っています。これらの水源は、いずれも水質に恵まれていることから、高知市の水道を『おいしく』しています。

渇水にも強い

旧高知市内の11ブロックに給水している旭浄水場と針木浄水場は、一日の平均使用水量の約1.5倍にあたる18万3千立方メートルを河川から取水することができます。このため、渇水により一定程度の取水制限が実施されても、影響なく給水が続けることができます。また、本宮町、布師田、弘岡上、森山の地下水源は、渇水時でも、水量変動が少ないこと、取水制限を受けないことから、安定した給水をおこなうことができます。このように、豊富な水源水量に支えられた高知市の水道は、渇水に強く、将来の水需要の増加にも十分に対応できるものとなっています。



針木浄水場



旭浄水場（更新工事完成予想図）



布師田水源



弘岡上水源



森山水源